



おおさとよしお 大里祥生常務取締役



最近はスポーツ系やアウトドア系の依頼が多い

市長の企業訪問

FACE to FACE ⑬

株式会社モード工芸
所在地/水谷東3-1-1



あなたのためだけのお店づくり

「次はモード工芸、モード工芸」バス停留所名にもなっており、バスの車内放送で社名をご存じの方も多いのではないのでしょうか。今回の訪問先は水谷東に本社を構える株式会社モード工芸です。

同社はマネキンの製造販売などを営む企業として昭和34年に東京都豊島区で誕生しました。まだ富士見村だったところに現在の場所に本社を移転しおよそ60年が経過しました。あなたのためだけのお店づくり「Only One For You」をモットーとする同社のマネキンは、ららぽーと富士見のショップにも数多く並んでいます。

エコマークの取得など環境配慮にいち早く取り組み、デジタル技術の導入も積極的に進めている同社に、次の時代を見据えた事業展開にあたっての想いを伺いました。

高い技術力で環境問題にも取り組む

マネキン製造には職人の高い技術力が必要なため、国内では数えるほどしか企業が存在しません。その中でも同社は、高い製品技術と新しいものづくりにトライする姿勢で他社にはない魅力を高めています。

環境問題にも早くから取り組み、日本で初めてマネキンの繊維強化プラスチック(FRP)のリサイクルに成功し、使用済

みマネキンを原料に新しいマネキンを製造する再生FRP製品でエコマークを取得する唯一の企業である同社は、海洋プラスチック問題を受けてさらなる高みを目指します。「新聞記事で海底に沈むマネキンの写真を見たときはショックを受けました」と大里常務取締役は振り返ります。海ごみゼロの製品開発に取り組み、伝統工芸品であるダルマの工法を活用することでプラスチックを使わない紙製マネキンの開発に成功しました。

再生紙を使用し水に溶ける紙製マネキンは、令和元年度彩の国埼玉環境大賞奨励賞を受賞したほか、多くのメディアも注目しています。

デジタル技術を導入した新しい取り組み

同社では、マネキンや店舗の配置イメージをバーチャル空間で確認できるように3Dスキャナーでマネキンを3Dモデル化。コロナ禍で外出自粛が求められる中、いち早く企業のVR展示会などに活用できたといいます。

「お客様の商品に込められた大切な想いを伝えることができるオンリーワンの企業として、これからも新たな技術開発に挑み続けます」と大里常務取締役は想いを語ります。

今回の訪問を通じて、デジタルトランスフォーメーションの推進や、新たな技術開発に挑戦することを後押しする施策の充実にも力をいれていきたいと改めて思いました。

市公式ホームページ



SNS



【カタログポケット】広報「富士見」を多言語で



【マイヒロ】広報「富士見」をスマートフォンで



【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴

人口と世帯数(11月1日現在)

人口…112,343人(前月比 -39人)
(男 55,259人 女 57,084人)
世帯数…53,617世帯(前月比 -4世帯)



富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。